

2021年4月30日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名
代表者・役職名

Oh!はやし
代表 東郷征雄



1.助成プロジェクト名

お囃子を蘇らせ、地域とのつながりを強く！

2.団体の概要

われわれが住む地域は江戸時代中期の新田開発から綿々と続く古い住宅地で、その地にある二つの鎮守社を中心とした「共益囃子」が盛んで、愛され、引き継がれてきていた。しかし平成初期には活動を休止、保持していた山車・太鼓なども立川市の囃子連に譲渡してしまった。最近になって国分寺市の公民館運営審議会が「地域づくりを目指す公民館の在り方」を答申、それを受けた並木公民館の運営サポート会議でとりあげたところ、興味を示した利用者10数名が手を挙げ、まずはお囃子を練習する会「Oh!はやし」が2018年8月発足したのである。

3.プロジェクトの目的とその背景

昔からこの地域に住んでいた人たちの中に、周囲が住宅地として開発されるにつれ、若い年齢層の家族が移り住んできている。住む人は増えたが、地域の住民同士の繋がりがやや希薄になりつつある。こんな時こそ昔からこの地にあり、地域の人々に愛され、引き継がれてきていた「お囃子」をもう一度蘇らせ、その力を借りて”地域の輪”を拡げ、繋がりをより強めて行きたい。

4.プロジェクトの内容

2018年8月に立ち上がった「Oh!はやし」は月に2回、国分寺市立並木公民館の一室を借り、「共益囃子」のご経験のある地域の先輩方のご指導で、2時間程度の練習を重ねてきた。篠笛は各自で購入、太鼓はないので地域の農家から分けていただいた太めの孟宗竹を30cm位の長さに切ったものを太鼓の代わりとして叩いてきた。

その後太鼓は国分寺市内の他のグループから2個借用でき、これからという時点で「コロナ」が発生、公民館の休館など活動にはかなりの支障があったが、神社の社務所を借りるなど工夫をしながら練習は継続してきた。

さらに助成金を頂き、自前の締め太鼓や長胴太鼓、鉦なども揃えられ、指導陣もさらに充実し、厳しい条件下ではあるが活発に活動は続けている。

5.プロジェクトの実施で得られた結果、社会的変化などの効果

まずは昔聴いて記憶に残る笛と太鼓、鉦の音を思い出し、この「Oh!はやし」に参加してもらおう。そして混在する古くからの住民と新しく移り住んできた住民の交流の場となり、地域の繋がりが出来、輪が広がる。やがてこの新しく蘇った「お囃子」の音が、次の世代に受け継がれ、国分寺の北地区が「新しい私たちのふるさと」になればいい。ただ予定していた発表の場である「公民館まつり」「ふるさとまつり」等瀬部手が中止となりまだ地域の人々へのお披露目は住んでいない。

6.プロジェクト実施なたつの課題、今後の展望など

現会員はまだ20名弱、笛や太鼓、鉦の担当もまだはっきりとは決まっていない。踊り手もまだいない。会員の数をさらに増やし、子供から高齢者まで幅広い年齢層で構成していきたい。活動(練習)は今年度は15回、お披露目のチャンスはなかった。

ありがたいことにこのプロジェクトの今年度助成金をいただき、長胴太鼓や締め太鼓、鉦を購入することができた。それにより私たちのモチベーションもさらに上がり、賑やかな笛や太鼓の音は、会員を増やすいい材料にもなっている。残念ながら今年も発表の場がすべて中止になったが、早く地域へのお披露目ができることを期待し、技術を磨き、会員を増やす努力を続けたい。

7.参考資料

活動(練習)風景の写真添付。

Oh! はやし 練習風景

公民館練習



神明宮社務所練習



助成金で購入した楽器など(2021年1月23日購入、2月10日お披露目)



締め太鼓2個、長胴太鼓1
個(ケース入り)



締め太鼓2個



長胴太鼓1本



バチ 15本



鉦・拍子木



保管場所は、公民館内に
鍵付き棚1か所を借用。